

# キノコの混ぜご飯

## 材料

しめじ……1パック  
まいたけ……1パック  
寿司揚げ……4枚  
麺つゆ(2倍濃縮) 大さじ4  
ご飯……………3合



## 作り方

- 1 まいたけ、しめじを解す
- 2 揚げは1センチ程度にカット
- 3 フライパンでキノコがしんなりするまで炒める
- 4 麺つゆを入れる
- 5 ご飯と混ぜる

## ポイント

猛暑、輸送コストの影響で野菜の高騰が続く中、年間を通じて価格も安定し食物繊維をたっぷり含んだキノコを意識的に摂取し、健康維持に役立てましょう。

## 病院と地域を結ぶ

## 巡回バスの運行を開始

地域の足である公共交通機関が縮小される中、患者・利用者さまからの要望を受けて、2025年10月20日より平日(月曜～金曜)の午前に、地域へ巡回バスを運行することにしました。ぜひご利用ください。

詳しくは、たたらリハビリテーション病院のホームページをご覧ください。



# ムクナ豆の実が成長

緩和ケア病棟のガーデンに「ムクナ豆」が栽培されています。ムクナ豆は必須アミノ酸をバランスよく含み、栄養価が高く、特に神経伝達物質のドーパミンの原料をふんだんに含んでいます。



サヤが黒く乾燥してカラカラと音がすると収穫の時期を迎えます。収穫して煮豆にするとホクホクして美味しいです。今度病棟の患者さんにも食べてもらう予定です。

# チャリチャリ

## 専用駐輪場(ポート)設置のお知らせ

当院敷地内の駐輪場横にシェアサイクルサービス「チャリチャリ」の駐輪ポートを設置しました。ご活用ください。



## たたらリハビリテーション病院通信

みんなそろって  
#タラッタ



## 認知症の人と地域をつなぐ

## "RUN伴2025福岡市"に参加

ランとも

「RUN伴(ランとも)」とは、認知症の人や家族、支援者、一般の人が少しづつリレーしながら一つのタスキをつないでゴールを目指す全国プロジェクトです。「認知症になんでも安心して暮らしていくのまちづくり」のきっかけとなるソーシャルアクションとして毎年開催され、今年は11月1日(土)に福岡市内各地で実施されました。

東区ではイオンモール香椎浜をゴールとする5つのルートが設定され、その中の「名子-八田ルート」の中継地点にびあすまいる東の利用者さん、いきいき



八田の入所者さんと一緒に参加し、手作りの手旗を振って声援を送りました。職員有志も中継地点を通過するなど、大いに盛り上げ、交流を図ることが出来ました。



発行元／公益社団法人福岡医療団 たたらリハビリテーション病院広報委員会

〒813-0031 福岡市東区八田1-4-66 TEL:092-691-5508 FAX:092-691-5634

<http://www.tatara-reha.jp> たたらリハビリ



たたらリハビリテーション病院は、日本医療機能評価機構認定病院です。



## 「ここは特別な場所、第二の故郷」

### R!Nたたらコンサート開催 リン

10月27日、女性シンガーソングライターのR!N(リン)ちゃんのコンサートが開催されました。

R!Nちゃんは現在東京を拠点に中国やヨーロッパ等世界でも活躍していて、アニメ「進撃の巨人」の挿入歌や「レオパレス21」のCMソング等、有名な曲も沢山ある売れっ子シンガーです。

実はR!Nちゃんとたたらリハビリテーション病院はとても深い縁で繋がっています。彼女が18歳の頃、音楽活動を始めてまだ駆け出しの時から物心両面で応援してくれていた大ファンの方(通称「キンちゃん」)が、ある日緩和ケア病棟に入院することがわかり、写真を頼りに当院を探し出して、1人で愛媛から会いに来られました。

すでに筆談でしかコミュニケーションが取れない状況でしたが、とても喜んだそうです。そして、いよいよ旅立つかもしれないという時、R!Nちゃんに来て頂き、あまり意識もない「キンちゃん」の前で歌を届けることができました。そして、それから間もなくして旅立っていました。

この事がきっかけとなって13年の間交流が深まっていき、定期的にコンサートを開催するようになりました。

今回はコロナ禍を挟んで実に7年ぶりの開催となりました。会場には患者さんやその家族、職員など70名を超

➤心のこもった歌声を披露する“R!N”ちゃん



れる方々が集まり、「キンちゃん」を想って作った『街』という曲を含め全5曲を歌い上げるなど、会場は感動に包まれていました。R!Nちゃんは、「ここは特別な場所で、私にとっては第二の故郷。また必ず帰ってきます」と約束してくれました。今後も、彼女の活動を応援し続けていきます。



➤満席の会場が感動に包まれました

### 九州プロレスが通所リハに来訪!

#### 圧倒的な力と笑顔のひととき

10月29日、通所リハビリテーションに九州プロレスの皆さんのが来訪し、利用者の皆さまへ“元気を届ける”特別イベントを開催しました!



➤対決のパフォーマンスは大盛り上がり



➤野崎広大選手

迫力あるトレーニングの実演に、会場は拍手と歓声でいっぱいに。プロレスラーの鍛え抜かれた身体と力強い動きに、皆さん思わず前のめりで見入っていました。

さらに、当施設スタッフとの相撲対決では、圧倒的なパワーであつという間に勝負が決着! 笑いと驚きが入り混じった会場には、「すごか~!」「元気がもらえた!」という声があふれました。

九州プロレスの皆さんのが掲げる「元気を届ける」という想いが、そのまま通所リハにも広がり、参加した利用者・職員ともに心から笑顔になれた貴重な時間となりました。

## 地域の自主サロンで心身ともにリフレッシュ

多々良校区に住民自主サロン『スマイルたら』が今年誕生しました。10月20日(月)、サロンの地域活動が多々良公民館で実施され、12名の方が参加されました。今回、講師として当院リハ技術部のPT(理学療法士)が講師を務めました。

体操、コグニサイズ、ラダー運動を行い、和やかな雰囲気の中で、楽しみながら体操に取り組まれていました。ラダー運動では難しい動きにも真剣に挑戦され、バランス感覚やリズム感の向上を感じられたようです。しっかりと体を動かし、「気持ちよかったです」「楽しかった」との声が多く聞かれました。参加者同士の交流も深まり、心身ともにリフレッシュできる有意義な時間となりました。



➤ラダー運動でしっかり体を動かしました



➤元気よく体を伸ばします

### ある日突然、医療機関がなくなる?

急激な物価高騰や人件費の上昇、コロナ関連補助金などの打ち切りの影響により2023～2024年度にかけて経常利益が赤字の病院が急増しています。日本医師会が行った診療報酬改定に向けた調査では、2024年度の病院全体の医業利益率は▲5.4%、経常利益率は▲2.6%で赤字額は1億640万円でした。特に公立の病院は医業利益率は▲15.9%と悪化し、医療費用が医業収益を上回る危機的状況です。中央社会保険医療協議会(中医協)が公表した2024年度医療機関経営分析によると、医療法人病院の58.3%、自治体病院の95.4%が赤字となっています。医療機関は過去最大規模で倒産、廃業がすすみ、深刻な経営危機に陥っています。ある日突然医療機関がなくなり、医療にかかれない地域が拡がっていくことが懸念されます。

### 署名にご協力ください

国は、医療機関の維持存続のための思い切った財政措置を講じるとともに、医療提供体制を整備、拡充して地域医療を守る責任があります。

いま日本医師会をはじめ各病院団体が手を組んで医療を守る運動にとりくんでいます。「医療機関の維持存続への支援を求める署名」にご協力をお願いいたします。

